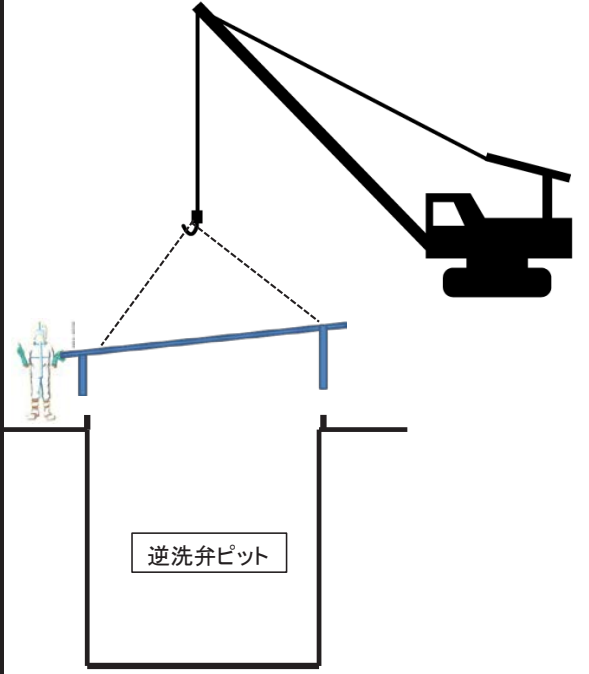
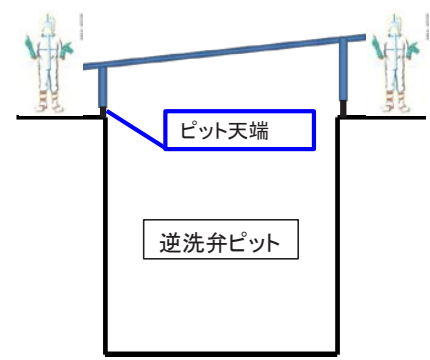
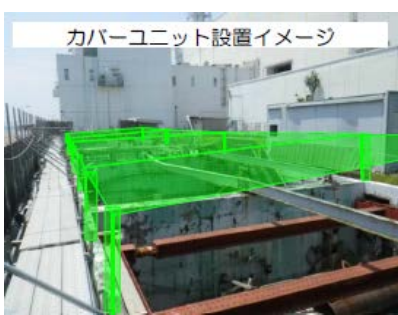


被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-15
原子炉建屋内	RB	R 7	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容		既設物を利用して現地作業を削減した (工法改善)			
作業部位		3号機タービン建屋逆洗弁ピット廻り			
概 略		屋根材を設置する基礎を作らず、ピット堰を基礎として利用した (工法改善)。			
評 価 (定性 定量)	効 果		低減量		
		被ばく線量(mSv)	553		
		人工数(人日)	--		
事例詳細		<p>対策前 逆洗弁ピット廻りは、ガレキの影響から環境線量率が、最大2.9mSv/hあり、屋根材設置のための基礎製作に大量の被ばくを要する可能性があった。</p> <p>対策内容 既存の逆洗弁ピット堰を基礎として利用することで、屋根材設置用基礎の製作を省略した(工法改善)。</p>			
<h3>ピット堰躯体に直接カバーを乗せる</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>逆洗弁ピット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ピット天端</p> <p>逆洗弁ピット</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>カバーユニット設置イメージ</p> </div>					